

23年度研究開発 34テーマを決定

NIPPO

NIPPOが2023年度の研究開発テーマを決定した。2月に開いた研究開発会議と4月開催の研究開発検討会を経て舗装土木事業、建築事業、環境事業、テストコースなどの分野で中長期的に取り組む34テーマ

マを決めた。

舗装土木では二酸化炭素(CO₂)排出量削減や現場の生産性向上に加え、再生合材の品質向上・評価技術やコンクリート床版の調査・補修技術、自動運転の支援技術などの開発に取り組む。

建築ではコンクリート打ち継ぎに関する技術、環境では土壌浄化、テストコースではバンク舗装の高度化技術をテーマに研究開発を行う。

短期間で結果を出すテーマや既存技術の改良改善にも注力。高耐久路盤の施工性改善、舗装や床版の平坦性向上、路床安定処理の効率化などのテーマは、現場からの要望を踏まえて改良改善を行う。



CO₂削減など研究 開発テーマを決定

NIPPO

NIPPOは、中長期などで取り組む研究開発テーマとして、34テーマを決定した。2月に研究開発会議、4月に研究開発検討会をNIPPO総合技術センター(さいたま市西区)で開き、写真、これらを経て、取り組み内容を決定した。

舗装土木事業では、CO₂削減、現場の生産性向上、再生合材の品質向上・評価技術、コンクリート床版の調査・補修技術、自動運転の支援技術など。建築事業では、

コンクリート打ち継ぎに関する技術、環境事業では土壌浄化、テストコースではバンク舗装の高度化技術などを進める。

このほか、短期間で結果を出すテーマや先に開発した技術の改良改善に取り組むほか、高耐久路盤の施工性改善、舗装や床版の平坦性向上、路床安定処理の効率化などのテーマは、現場からの要望を踏まえて改良改善を行う。

山岸宏総合技術部長は「研究開発の目的は、商品化や社内技術化ではなく、開発技術で現場の課題を解決すること。まずは開発技術を現場で使ってもらい、改良改善して、定着するまで研究開発を続けていく」としている。